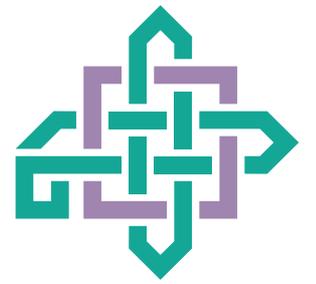


連携の絆を深め、輝く明日へ



ニュースレポート  
**中央会**

NEWS REPORT CHUOKAI

No. 801

2022

**12**



第74回 中小企業団体全国大会開催



北海道中小企業くみあい祭り開催!



東北・北海道ブロック  
中小企業組合士協議会 研修交流会開催

北海道中小企業団体中央会

## Contents

- 01 受章おめでとうございます 秋の叙勲・褒章
- 02 受賞おめでとうございます 北海道産業貢献賞
- 03 第74回 中小企業団体全国大会開催
- 04 北海道中小企業くみあい祭り開催！
- 06 令和4年度 北海道の労働事情【要約版】①
- 08 業界こぼれ話（青果業の話）
- 10 東北・北海道ブロック中小企業組合士協議会 研修交流会開催／  
新入職員紹介
- 11 北海道経済産業局からのお知らせ
- 12 10月の道内景況
- 14 支部だより
- 16 中小企業大学校旭川校からのお知らせ  
中小企業基盤整備機構からのお知らせ

## 尾池 一仁 会長が令和4年秋の叙勲「旭日小綬章」を受章されました



当会の会長である尾池 一仁氏が、11月3日付の秋の叙勲で「旭日小綬章」を受章されました。

11月22日に北海道庁において伝達式が行われ、勲記・勲章が北海道 中島経済部長より伝達されました。

### 【主な役職】

北海道中小企業団体中央会 会長

全国中小企業団体中央会 副会長

双豊電気株式会社 取締役会長

札幌電気工事業協同組合 相談役

北海道電気工事業工業組合 相談役

全日本電気工事業工業組合連合会 相談役

# 受章おめでとうございます

## 秋の叙勲・褒章

～本会関係者13名が荣誉に輝く～

業界や地域における長年の優れたご功績によって、令和4年秋の叙勲・褒章を受けられた本会関係者をご紹介します。栄えある受章を心からお祝いし、今後ますますのご活躍をお祈りします。



旭日中綬章

松原 正和 氏

北海道木材産業協同組合連合会 会長  
全国木材協同組合連合会 会長  
本会理事



旭日小綬章

尾池 一仁 氏

札幌電気工業協同組合 相談役  
北海道電気工業協同組合 相談役  
全日本電気工業協同組合連合会 相談役  
本会会長・全国中央会副会長



旭日小綬章

鈴木 勉 氏

協同組合士別建設協会 理事・相談役



旭日小綬章

瀧澤 量久 氏

芦別未来の森協同組合 監事



旭日小綬章

米田 和正 氏

旭川弁護士協同組合 副理事長



旭日双光章

北島 廣 氏

北海道葬祭業協同組合 元理事長  
全日本葬祭業協同組合連合会 元副会長



旭日双光章

佐々木 常博 氏

北海道消防設備事業協同組合 前理事長



旭日双光章

土橋 利文 氏

斜里道路整備事業協同組合 副理事長



瑞宝双光章

足立 守司 氏

函館機械メンテナンス協同組合 理事



旭日単光章

桑原 義彦 氏

旭川家具工業協同組合 相談役・元理事長  
北海道家具工業協同組合連合会 理事



黄綬褒章

相高 周三 氏

北海道税理士協同組合 相談役・元副理事長



黄綬褒章

中村 達也 氏

札幌塗装工業協同組合 副理事長



藍綬褒章

北村 勝満 氏

札幌市水産物卸売協同組合 理事長  
全国水産物卸組合連合会 副会長

# 北海道産業貢献賞 受賞おめでとうございます!

令和4年度北海道産業貢献賞の受賞者が10月28日に公表されました。

本会関係者で受賞の栄誉に輝かれた方々をご紹介します。おめでとうございます!

## 商工鉦業関係功労者



浅田 寛 氏

協同組合旭川流通センター  
理事長



柿田 英樹 氏

釧路和商協同組合 理事長



木村 謙一 氏

函館市排水設備指定業者協同組合  
理事長



栗山 太郎 氏

北見地方自動車整備協同組合  
理事長



小寺 友之 氏

十勝中央維持管理協同組合  
副理事長



齋藤 忠明 氏

北海道家電協同組合 理事長



鈴木 勉 氏

協同組合土別建設協会  
理事・相談役



多田 健三 氏

道央水産物商業協同組合  
理事長



堀崎 幸博 氏

道央青果協同組合 理事長



本間 裕二 氏

丸市新南小樽市場協同組合  
理事長



松枝 幸雄 氏

ネットワーク東北海道協同組合  
理事長



米塚 豊 氏

中島西口商店街振興組合  
理事長

## 卓越した技能者



石山 修司 氏

南北海道塗装工業協同組合  
監事



奥野 泰隆 氏

旭川緑化造園協同組合  
元理事長



高崎 正人 氏

苫小牧塗装工業協同組合 理事



若松 宏佳 氏

旭川塗装工業協同組合 理事

(五十音順)

# 第74回中小企業団体全国大会開催

つなげる ひろげる 連携の架け橋 ～希望の未来 中小企業「光」を結集～



第74回中小企業団体全国大会が長崎市において、全国から約2,000名の関係者が参加し開催されました。

開会にあたり主催者の森洋全国中央会会長と開催地の石丸忠重長崎県中央会会長からそれぞれ挨拶があり、平田研長崎県副知事と田上富久長崎市長から歓迎挨拶が行われた後、西村康稔経済産業大臣のビデオメッセージ、小林洋司厚生労働審議官ほかご来賓の方々から祝辞がありました。



全国中央会 森会長

大会は、石丸長崎県中央会会長を議長、桑野龍一福岡県中央会会長及び佐藤勘三郎宮城県中央会会長を副議長に議事が進められ、晝田眞三岡山県中央会会長の「総合経済対策の早期執行と地域を支える中小企業の持続的発展に向けた活力強化」と題した意見発表が行われ、中小企業・小規模事業者等の経営強靱化・成長促進支援、労働・雇用・社会保険料対策、環境整備についての14項目を決議しました。

その後、山下顕伸長崎県中小企業団体中央会青年部会長が「大会宣言」を行い、満場の賛同を得て採択されました。



全国大会会場「出島メッセ」での記念撮影



札幌電気工事業(協)小野寺理事長(右)と帯広工業団地(協)河合理事長(左)

引き続き、優良組合40組合、組合功労者74名、中央会優秀事務局専従者27名の表彰式が行われ、本会からは、優良組合として北海道トラック交通共済協同組合、札幌電気工事業協同組合、帯広工業団地協同組合の3組合が、組合功労者として北海道火災共済協同組合小林一清理事長が表彰されました。

最後に、次期開催地を宮城県とすることが発表され、大会旗が森全国中央会会長から佐藤宮城県中央会会長へ引き継がれ閉会しました。

大会にあわせて企画した本会オリジナルツアーには20名が参加し、長崎県の第2の都市でかつて旧海軍の軍港として栄えた歴史を持つ、佐世保市の佐世保水交社跡地にある「海上自衛隊佐世保資料館」や複雑に入り組んだリアス海岸と大小208の島々からなる景勝地の「九十九島」、長崎市の「平和公園」「グラバー園」「シーボルト記念館」などを巡ったほか、全国大会の夜は、坂本龍馬の刀傷がある「史蹟料亭花月」で歴史と文化に触れるなど、交流と親睦を深めました。



坂本龍馬が切りつけたと伝わる床柱の刀傷

# 北海道中小企業くみあい祭り 開催!

10月29日(土)、30日(日)の2日間にわたり、初めての取組として、道内の一般消費者など幅広い方々に、多様な活動に取り組む組合情報を広く発信し、本会及び中小企業組合の認知度の向上を図ることを目的として「北海道中小企業くみあい祭り」を札幌駅前通地下歩行空間チ・カ・ホにて開催しました。

期間中、約2,700人の来場者が訪れ、業界を牽引している各組合等の個性豊かな展示ブースに足を止め、組合担当者の説明に耳を傾けていたほか、共同販売事業として組合ブランドの商品を販売するブースでは多くの来場者が生花、工芸品、飲食料品等を購入していました。

ステージイベントでは、アイヌ民族楽器のムックリの演奏など出展した14団体によるPRが行われ、会場を盛り上げました。

会場内では、出店ブースを巡って抽選で豪華景品が当たる「くみあい祭りスタンプラリー」を実施し、多くの皆様にご参加いただきました。



## 出店ブース紹介



黒千石事業協同組合



旭川家具工業協同組合



帯広酒販協同組合



十勝・新得フレッシュ地鶏事業協同組合



札幌左官工業協同組合



札幌振自動車事業協同組合



北海道中古自動車販売商工組合



ちえのわ事業協同組合



白老観光事業協同組合



函館駅二商業協同組合



企業組合ウェルフェアグループ



札幌市管工事業協同組合



北海道生花商協同組合



協同組合北海道イベントプロモーション協会

お問合せ先

北海道中小企業団体中央会 (担当: 連携支援部)

札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7 3階 TEL:011-231-1919 FAX:011-271-1109

## 調査のあらまし

中小企業団体中央会では、昭和39年度から、毎年、全国統一様式により「中小企業労働事情実態調査」を実施しています。今年度も令和4年7月1日を調査時点として道内の従業員数300人以下の1,500事業所を対象にアンケート調査を実施しました。

調査内容は、例年の従業員構成、労働組合の有無、経営状況、労働・残業時間、有給休暇付与・取得日数、新規学卒者の採用状況及び採用計画、賃金改定状況に加え、育児・介護休業制度、人材育成・教育訓練、原材料費アップ等に対する販売価格への転嫁状況に関する項目を追加しました。

この調査の結果の要点を今月号から2回にわたって掲載します。(詳細は、本会ホームページに掲載予定)

## 1 経営

### (1) 1年前と比べた経営状況

1年前と比べた経営状況は〈図1〉のとおり。

全業種で見ると、「良い」が12.9%で、「悪い」が30.6%であった。また、「良い」と回答した事業所は、製造業が14.1%、非製造業が12.4%であった。

業種別で「良い」と回答した事業所を比較すると〈図2〉のとおり。製造業で最も多かったのは、「繊維工業」で50.0%、次いで「化学工業」が33.3%、「その他製造業」が29.6%となった。また非製造業では、「情報通信業」が28.6%、次いで「対個人サービス」が18.9%、「小売業」が14.4%であった。

全国と比較すると〈図3〉のとおり。

「良い」と回答した事業所は、北海道が12.9%、全国は17.2%で全国を4.3ポイント下回った。また、「悪い」と回答した事業所は北海道が30.6%、全国は35.5%で全国を4.9ポイント下回った。

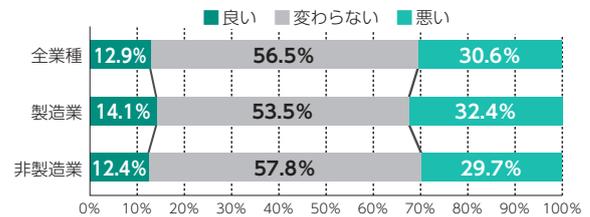
### (2) 経営状況の直近5か年の推移

経営状況の直近5か年の推移は〈図4〉のとおり。

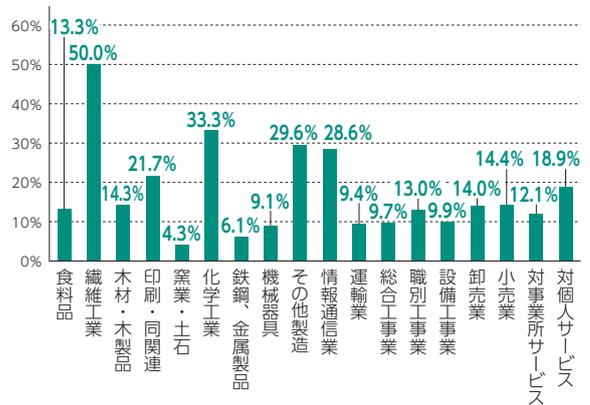
令和3年度と比較して「良い」と回答した事業所は、12.9%で前年度より1.6ポイント増加した。一方で「悪い」と回答した事業所30.6%で、前年度よは5.3ポイント減少した。

令和3年度と比較すると経営状況は回復傾向にあるが、令和元年度以前の水準までは回復していない。

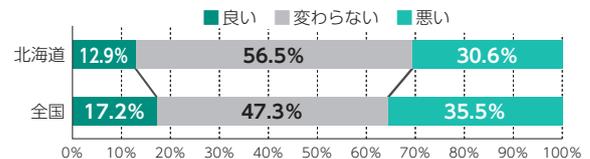
〈図1〉経営状況



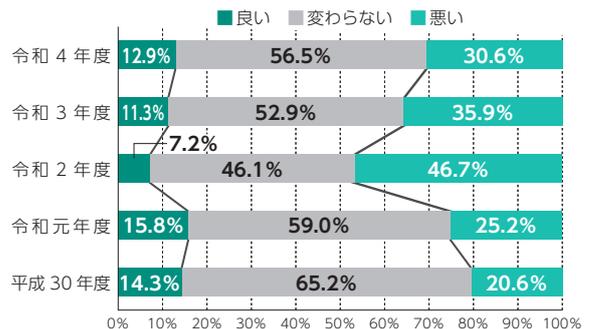
〈図2〉経営状況(業種別で「良い」と回答した事業所)



〈図3〉経営状況(全国比)



〈図4〉経営状況の直近5か年の推移

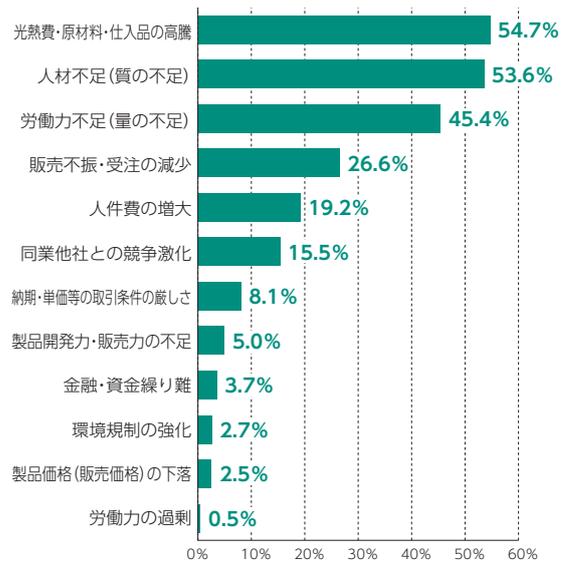


### (3) 経営上の障害

現在の経営上の障害は〈図5〉のとおり。

最も多かったのは、「光熱費・原材料・仕入品の高騰」で54.7%、次いで「人材不足(質の不足)」が53.6%、「労働力不足(量の不足)」が45.4%、「販売不振・受注の減少」が26.6%と続いた。

〈図5〉経営上の障害(複数回答)



## 2 従業員の労働時間 (パートタイマーなど短時間労働者を除く。)

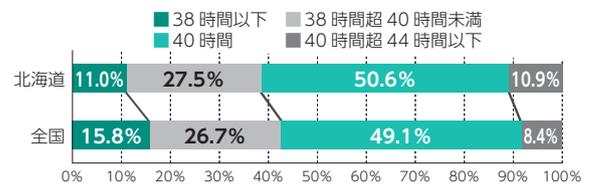
### (1) 従業員の週所定労働時間

従業員の週所定労働時間は〈図6〉のとおり。

「38時間以下」、「38時間超40時間未満」、「40時間」の40時間以下は89.1%となった。

※ 10人未満の商業、映画・演劇業、保険衛生業、接客娯楽業は、「週44時間特例措置対象事業所」

〈図6〉週所定労働時間(全国比)

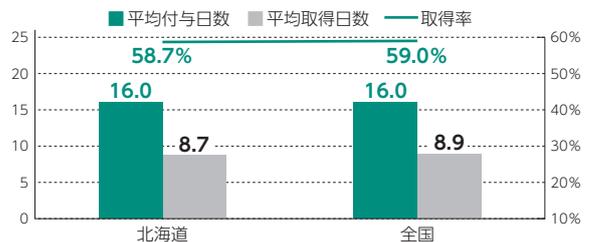


### (2) 令和3年度従業員1人当たりの年次有給休暇の平均付与日数・取得日数・取得率(全国比)

年次有給休暇の平均付与日数・取得日数・取得率を全国と比較すると〈図7〉のとおり。

北海道の平均付与日数は16.0日で、全国と同数となった。また、北海道の平均取得日数は8.7日、全国より0.2日少なくなっている。取得率は北海道が58.7%で、全国平均より0.3ポイント下回った。

〈図7〉年次有給休暇の平均付与日数・取得日数・取得率(全国比)



## 3 賃金の改定(令和4年7月1日時点)

### (1) 賃金改定(年度別)

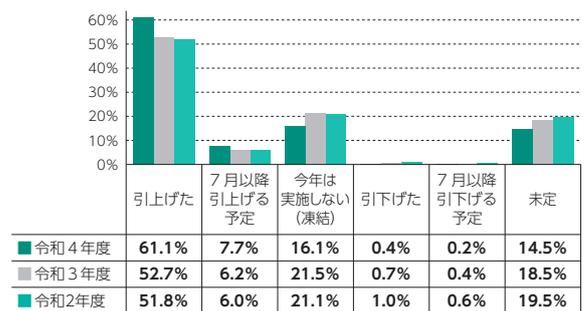
年度別の賃金改定は〈図8〉のとおり。

「上げた」が61.1%で、前年度と比較して8.4ポイント増加した。また、「7月以降引上げる予定」は前年度から1.5ポイント増加し、7.7%となった。

「今年度は実施しない(凍結)」は16.1%で、前年度より5.4ポイント減少した。「未定」は14.5%で、前年度と比較して4.0ポイント減少した。

なお「上げた」、「7月以降引上げる予定」を合わせると68.8%となり、前年度より9.9ポイント増加した。

〈図8〉賃金改定(直近3か年の推移)



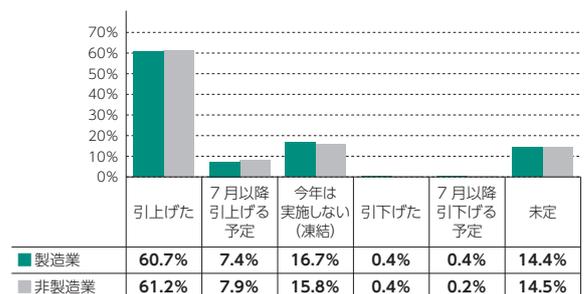
### (2) 賃金改定(業種別)

業種別の賃金改定は〈図9〉のとおり。

「上げた」は製造業が60.7%、非製造業が61.2%で、非製造業が0.5ポイント上回った。「7月以降引上げる予定」は製造業が7.4%、非製造業が7.9%で、非製造業が0.5ポイント上回った。

なお、「今年度は実施しない(凍結)」は製造業が16.7%、非製造業が15.8%で製造業が0.9ポイント上回った。

〈図9〉賃金改定(直近3か年の推移)



# 業界こぼれ話



青果業の話 栄養素と肥料・複合摂取

前回ニュースレポート10月号で野菜・果物の栄養素の話をさせていただきました。

栄養素は体を作り、健康を維持、増強するためにはなくてはならないものであり、かつて『3大栄養素』と呼ばれた時代から現代の『7大栄養素』と言われる時代にいたるまで様々な研究がなされてきたこと、そして、それら栄養成分の内容を紹介させていただきました。

今回は野菜果物が豊富な栄養素を蓄えるために必要な肥料、光合成の仕組み、そして栄養素を効果的に摂取する複合摂取についてお話ししたいと思います。

## 肥料について

一般的に野菜類は、その分類で、葉茎(ようけい)野菜類、果菜(かさい)類、根菜(こんさい)類に大きく分かります。葉茎野菜とはその名のとおり、葉や茎を食用とする野菜で、レタス、セロリ、ホウレン草、小松菜、長ネギなどです。

また、果菜類とは果実部分を食する野菜で、トマト、ナス、ピーマンなどがあげられます。そして、根菜類は根を主に食用とする大根、人参、ごぼうなどが含まれます。

これらの野菜果物は生育するために肥料が必要ですが、肥料は大きく分けて窒素系肥料、リン酸系肥料、カリウム系肥料に分けられます。チッソ、リン酸、カリと言われる言葉を耳にしたことがある方も多いと思います。

チッソ系肥料は上記野菜のうち葉茎野菜を肥育させ、リン酸系肥料は果菜類野菜に特に必要とされ、カリウム系肥料は根菜類の根もの野菜の生育に必要ですが、野菜果物はすべて根、茎、葉をそなえ、そして最終的に実をつける訳ですから必要とする成分の量に差はあれど、チッソ、リン酸、カリの3要素が過不足なく必要で、農家の方は発芽の時期、成長の時期、結実の時期を見極め、適宜必要とされる肥料を効果的に与え、収穫量のアップを目指します。

さらに、果菜類、根菜類であっても葉や茎が健康的に成長しなくては立派な野菜が収穫できませんので、チッソ系肥料はすべての作物の基本とも言えます。

肥料は一般的に複合肥料と言ってチッソ、リン酸、カリのうち2成分以上を含む肥料を使うのが一般的ですが、特に単肥と言って、少なくなった成分を補う場合に効果的に成長を促すために使用する肥料もあります。



## 肥料食いとは

野菜の中で『肥料食い』と言われ、かなりの量の肥料が必要な野菜があります。

ナス、トウモロコシ、ごぼう、アスパラガスなどが代表格として挙げられますが、一般的にごぼうなどは畑の養分を目一杯吸い取ってしまうため、連作(毎年作付けること)を避けるのが一般的です。

ただ、肥料も多ければ良いというものではなく、例えばチッソ系の肥料はよく硝酸を含んだ液肥(液体肥料)の形で葉物野菜に与えることも多いですが、日光の助けを借りて効果的に葉や茎の成長と連動しなければ硝酸が効果的にチッソとして吸収されず、最終的にアミノ酸を経てたんぱく合成まで進んでいかなくてはおいしい野菜には育たないわけです。

農家の方はこれらの研究に加え、畑の土壌の分析をしながら畑を休ませたり、土壌改良を施したりして効率的な営農活動をするわけです。

## 効果的な野菜果物の食べ方

さて、私たちは普段食事をするとき一般的には栄養素を意識することなく、空腹を満たすために、また、美味しさ追求の目的で食事をすることが多々あります。

実は、前回執筆させていただいた栄養素ですが、例えば、ミネラルのうちの一つであるカルシウムなどは単体で摂取しても満足に体に吸収されず、むしろ吸収されにくい栄養成分と言えます。

効果的に摂取するためにはビタミンDの摂取が必要とされ、近年そのような効果的な栄養素摂取の仕組みが色々解明されるようになってきました。

他に例を挙げると、ビタミンBは皮膚を健康に保ち、疲労回復に効果的ですが、さらに吸収力を高めるためニンニクと摂取するとニンニクの成分であるアリシンがビタミンBの摂取効率を高めてくれます。

アリシンは、前回お話しした7番目の栄養素であるフィトケミカルの一種ですが、単体では抗菌作用を発揮し、体を細菌類から守ってくれますが、複合ではビタミンBの摂取効果を高めてくれるわけです。

また、現代人に特に不足し、吸収率も悪いミネラルの代表格の鉄分ですが、ビタミンCと一緒に摂ることで効果的な摂取が期待できます。

また果物類は、きちんと洗浄した上で皮ごと食されるほうが、皮と身の間に含まれるフィトケミカルの摂取が期待できます。

よく、食事は『丸ごと全体を食べましょう』と言われますが、先人たちは理屈では分からずとも、経験で全体食の効用を知っていたのだらうと推察されます。

文明が進んだ現代は科学的考察やエビデンスの研究が進んできましたが、そのぶん、経験則に基づいた生命体としての本能が薄れてきたように考えるわけです。

実は面白い話があって、10年以上前になりますが北海道の士別市に自然農法を研究している団体があり、そこの実験農場を見せていただいたことがありました。

雑草は生え放題、もちろん農薬未使用のため虫もそのまま放置するワイルドな営農スタイルです。

ここではジャガイモを植えていたのですが、3年目ごろまでは雑草の稗(ひえ)や粟(あわ)などにジャガイモが負けてしまい枯れる寸前まで行きましたが、その後、ジャガイモが大きく成長し敵対関係だった雑草類が、実はジャガイモにとって必要な土中栄養分を放出し始めることが分かったそうです。

どうやら植物は根の部分でお互いに交信しているらしく、さらに土中微生物の活動も加わって、完全な生命の循環が出来上がっていたらしいのです。

その実験農場の主宰者は『植物も動物も外部から手を加えなくとも本来必要な養分や環境は相互間で自然発生的に作られる』ことを悟ったそうです。

よく、良い畑はミミズが多いといわれますが、話を伺うと、ミミズがいるうちはまだ分解できる『余計なもの』があるので、このような実験農場のレベルになると、もはやミミズも存在しなくなるそうです。

この農場で収穫した作物は原生種に近くなるため、アクも多く、砂礫の分解も進むため、天然のミネラルがとて多いそうです。

それを食すには現代人の消化力では到底太刀打ちできませんが、人間も健康になって初めて栄養素の濃い食物を消化できるようになるとのことでした。

現代社会では、なかなかそのような食環境を手に入れることはできませんが、せめて、栄養素を重要視した食生活を心掛けたいものです。

## 札幌市中央卸売市場の情報発信について

札幌市中央卸売市場では荷受業者、仲卸業者、関係団体で組織される『青果部運営協議会』を組織し、食育発信を行っております。今年度はほとんどの主宰事業を終えましたが、例年、『食育セミナー』『料理教室』などの活動を通じ広く、市民、道民の皆様に食育における中央卸売市場の可能性を発信しておりますので一度サイトを覗いてみてください。

URL <https://seikabu.com>



今回は青果業と協同組合の深いつながりについてお話ししたいと思います。

今回は、道央青果協同組合 専務理事 星田 幸伸 氏よりご寄稿いただきました。ありがとうございました。なお、星田専務理事には続編をご寄稿いただく予定です。次回の掲載をお楽しみに!

## 第38回東北・北海道ブロック 中小企業組合士協議会研修交流会が青森市で開催されました

10月28日、青森市「ホテル青森」において第38回東北・北海道ブロック中小企業組合士協議会研修交流会が開催されました。

本協議会は、中小企業組合士の資格を持つ東北・北海道ブロックの組合士会会員相互の交流を深めるため組織されており、研修交流会は毎年、北海道及び東北各県の持ち回りで開催していましたが、コロナ禍の影響でここ数年は中止やWebでの開催となり、会場を設けての開催は3年ぶりとなりました。

当日は、北海道中小企業組合士会からは11名が参加し、最初に視察研修が行われ、昨年、世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産のひとつである「三内丸山遺跡」を見学しました。

視察研修後、当協議会会長会議が実施され、その後、北海道・東北（青森、秋田、岩手、宮城、福島）の会員や来賓総勢60名程が参加して研修交流会を開会し、冒頭、東北・北海道ブロック中小企業組合士協議会鈴木英弘会長（北海道中小企業組合士会 会長）より主催者挨拶があり、講演は、有限会社リングミュージック 代表取締役 樋川新一氏を講師とし、「中小企業組合と地域活性化」と題して行われ、「音楽・芸道活動を通じた地方からの情報発信と、地元青森の活性化、全国、海外の第1次産業をエンタテインメントで元気づけることを目標としている」と取組についての話がありました。

懇親会では、リングミュージック所属の「りんご娘」のミニコンサートが行われ、中締めでは、北海道中小企業組合士会 村田京華副会長より、来年10月13日（予定）に当ブロック協議会の研修交流会を旭川で開催することが紹介され、互いに親睦を深める賑やかな会となりました。

来年は、旭川での開催を予定していますので、多くの方のご参加をお待ちしております。



研修交流会の様子



懇親会の様子

## 新入職員紹介



- 氏名 中里 壮輝（なかさと そうき）
- 所属 総務部
- 出身地 余市町
- 趣味 映画・音楽鑑賞

11月1日より中途採用で入社致しました中里壮輝です。不慣れなことも多くご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、1日も早くお役に立てるよう努めてまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

北海道経済産業局からのお知らせです

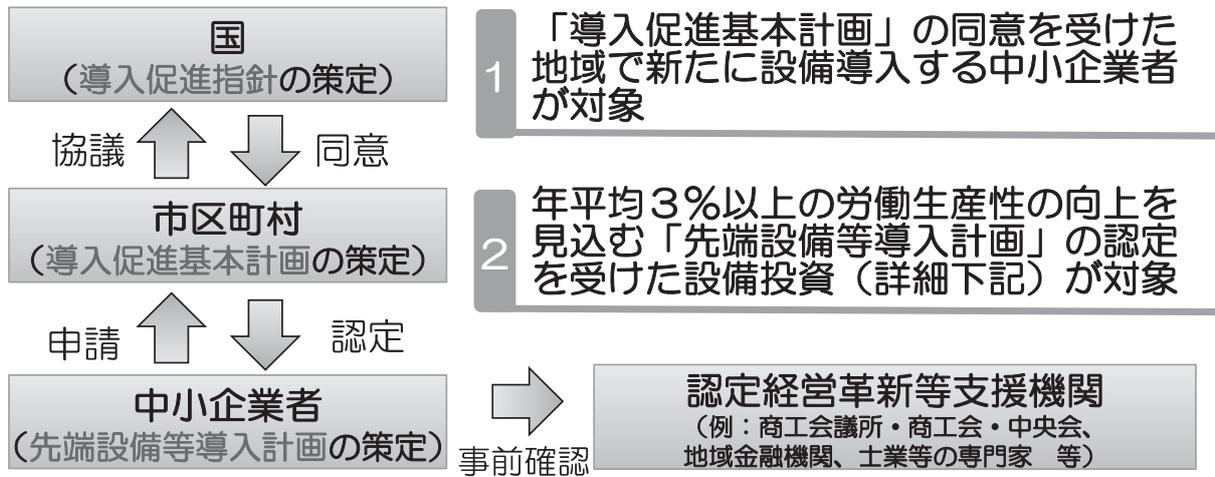
# 先端設備等導入制度に基づく 固定資産税の特例について

先端設備等導入計画 

市町村の判断により、新規取得設備の固定資産税が最大3年間ゼロ<sup>\*</sup>になります。

<sup>\*</sup>課税標準を市町村の条例で定める割合(ゼロ～1/2)を乗じて得た額とする

## 【事業スキーム】



## 【固定資産税特例の要件】

項目	概要
対象者	先端設備等導入計画の認定を受けた中小企業者が対象。ただし、固定資産税の特例を利用できるのは、資本金1億円以下の法人等（大企業の子会社を除く）に限る。
対象設備	商品の生産若しくは販売又は役務の提供の用に直接供する設備であって、生産性向上に資する指標が旧モデル比で年平均1%以上向上する下記設備（事業用家屋を除く） <sup>*</sup> 工業会等から証明書を取得する必要があります。 <sup>*</sup> 2023(令和5)年3月末までに導入する設備が対象となります。
※市町村により異なる場合があります。	<b>【設備種類（最低取得価額／販売開始時期）】</b> ◆機械装置（160万円以上／10年以内） ◆測定工具及び検査工具（30万円以上／5年以内） ◆器具備品（30万円以上／6年以内） ◆建物附属設備（償却資産として課税されるものに限る）（60万円以上／14年以内） ◆構築物（120万円以上／14年以内） ◆事業用家屋（取得価額の合計額が300万円以上の先端設備等とともに導入されたもの）

お問い合わせ先

【北海道経済産業局 窓口】 産業部 中小企業課

TEL:011-709-2311(内線2574) E-mail:hokkaido-seisanseikojo@meti.go.jp

# 10月の道内景況 情報連絡員レポート

## 売上高・収益状況の上昇が見られるも、原材料・エネルギー高騰の影響続く



### 概況

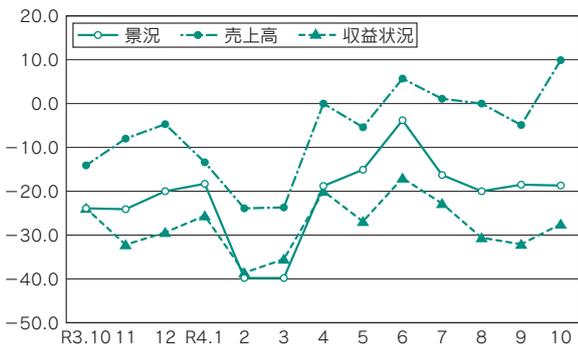
全業種の主要DIは、前月と比較し、「景況」がやや低下しているものの、「売上高」や「収益状況」が改善している。

製造業は、「売上高」、「販売価格」で改善しているが、他の項目で低下している。

非製造業は、「販売価格」、「雇用人員」以外で改善している。

情報連絡員からの報告によると、製造業は、原材料やエネルギー価格の高騰によりコストが上昇し、収益を圧迫している状況にある。また、非製造業は、観光需要の回復により、売上高の改善や消費の持ち直しはあるものの、コロナ感染者数の増加に伴い年末に向けての見通しが立たず、今後の動向を不安視する声も寄せられている。

主要DIの推移



### 景況天気図(前年同月比)

	全業種			製造業			非製造業		
	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比
業界の景況	☁️ △18.5	☁️ △18.7	△0.2 ↘	☁️ △20.7	☁️ △33.3	△12.6 ↘	☁️ △17.3	☁️ △10.3	7.0 ↗
売上高	☁️ △4.9	☁️ 9.9	14.8 ↗	☁️ △17.2	☁️ △3.0	14.2 ↗	☁️ 1.9	☁️ 17.2	15.3 ↗
収益状況	☁️ △32.1	☁️ △27.5	4.6 ↗	☁️ △31.0	☁️ △33.3	△2.3 ↘	☁️ △32.7	☁️ △24.1	8.6 ↗
販売価格	☁️ 27.2	☁️ 27.5	0.3 ↗	☁️ 20.7	☁️ 24.2	3.6 ↗	☁️ 30.8	☁️ 29.3	△1.5 ↘
取引条件	☁️ △18.5	☁️ △17.6	0.9 ↗	☁️ 0.0	☁️ △3.0	△3.0 ↘	☁️ △28.8	☁️ △25.9	3.0 ↗
資金繰り	☁️ △9.9	☁️ △9.9	0.0 →	☁️ △6.9	☁️ △9.1	△2.2 ↘	☁️ △11.5	☁️ △10.3	1.2 ↗
雇用人員	☁️ △12.3	☁️ △16.5	△4.1 ↗	☁️ △3.4	☁️ △12.1	△8.7 ↘	☁️ △17.3	☁️ △19.0	△1.7 ↘

(凡例) 30以上 10~29 9~△10 △11~△29 △30以下  
☁️ ☁️ ☁️ ☁️ ☁️

天気図の見方 各景況項目について調査月と前年同月を比較して、「増加」(または「好転」)したという回答(構成比)から「減少」(または「悪化」)という回答(構成比)を差し引いた値(DI)をもとに作成。天気表示は凡例のとおりです。

### 製造業

#### 食料品

- 各社とも価格変更等などは行っているが、原材料価格の高騰に追いついていない。  
・人員を集めたいが、円安のため外国人労働者を集めることも難しくなっている。  
・円安をどうにかしないと問題は解決しないと思われる。(小博)
- 今期網走における秋鮭漁は、9月後半より徐々に水揚げが増加し、10月26日現在で前年比154%の6,266t(北海道全体では73,377tと前年比161%)となっている。H29年～R3年まで平均4,500tの水揚げで推移していたこともあり、地元の水産加工場においては、イクラ等の製品処理に力を入れている。(いくら製品は2年分保存可能)  
・先月分の報告では、秋鮭不漁で報告していたが、急に獲れるようになり、価格が1,500円/kgから700円/kgまで下がっており、それに伴って在庫保有に動いている状況である。(網走)
- 春の各種原材料の値上げ分を量販店や業務店でも理解してもらい、価格転嫁ができていたが、買い控えにより商品が動かず収益は悪化している。  
・すべての値上げ分がまだまだ予想できず、価格転嫁できずに利益がどんどん減少している。(全道)
- 味噌出荷量(道内) : 単月(令和4年9月) 前年対比 100.7%  
・醤油出荷量(道内) : 単月(令和4年8月) 前年対比 100.7%  
・令和4年1月～9月の道内・累計出荷量 : 味噌 前年対比 99.9%  
・醤油 前年対比 96.4%  
・令和4年1月～8月の全国・累計出荷量 : 味噌 前年対比 99.0%  
・醤油 前年対比 100.3%  
・令和4年9月の道内単月出荷量は、味噌・醤油とも良かった。  
・令和4年1月～9月の道内の累計は味噌・醤油ともに前年割れ。  
・令和4年1月～8月の累計で、道内の醤油の出荷量は、全国平均よりも悪い状況が続いている。  
・エネルギー価格の高騰及び外国産大豆の高止まり、干ばつによるアメリカ米の高騰、塩・包材(フィルム・ダンボール)等の再値上げもあり、状況はすべてにおいて悪化している。(全道)
- コロナ+原材料等の値上げ+重油価格等の値上げが目押ししたが、現在においても未だ外部環境が低迷しており製品価格を上げられる状況ではない。特に小企業は自らの企業努力だけでは全く打開できる環境ではなく大変苦慮している。(全道)

#### 木材・木製品

- 10月期のトドマツ原木は、これまでの状況を見ると例年並みと思われる。トドマツ原木は、カラマツ原木不足により代替えとしてトドマツを使用する状況も見られるが、トドマツ原木の不足感はない模様。移出は、本州合板工場の需要が下がりカラマツ、トドマツとも動きが少ない模様。市況については、地域差があるが、弱保合で推移。  
・10月期のカラマツ原木は、慢性的な原木不足は未だ解消される見込みがない状況にある。また、3.65m材の出材が国有林で供給しているが、欲しい所には届かず流通業者が高値で確保している状況が見られる。4.00m材は出材されているが、未だ高値安定の状況にある。市況については、保合で推移。  
・製材市況は、建築材、産業用資材共に、ここに来て価格は横ばいの状況にある。カラマツラミナーについては、価格が大きく下げられている模様。市況については、エソ・トドマツは、保合が見込まれる。カラマツも保合。  
・紙原料は、原木価格が上昇していることからチップ買取価格の上乗せを希望する事業者が多くあるが、希望どおりの上昇は、されていない模様。  
・木質バイオマス原料については、順調に集荷されている模様。

- ・広葉樹原木については、今後供給期を迎えるので需要が増加することが見込まれる。
- ・運送、工場等への燃料価格上昇に対する対策が急務。
- ・製材工場は、原木の供給が安定的に出されることを希望する。(全道)
- 原木入荷量がなかなか安定しないことから、そのことによる受注を制限せざるを得ない状況になっている。  
・燃料価格及び電気料金の値上げが続いていることから、今期の冬季燃料手当は割増して支給する予定(十勝)

#### 窯業・土石製品

- 十勝地域では、帯広の体育館や商工会議所などの再開発が終了したことに伴い砂の需要が減少。
- ・農地の暗渠疎水材での需要はあるが前年並み。
- ・砂利単価が200円程度上がっているが燃料軽油や設備部品の高騰により収益増とならない。(全道)
- 仕事量が少なく、厳しい状況である。
- 10月の生コン出荷量はおよそ345千m<sup>3</sup>。(前年同月比89.5%)  
・地域別には、前年同月上回った分は29分會中、9分會で前年を下回った。前年同月と比較して、増加したのは北見地方、北渡島、岩宇など。一方、減少したのは富良野地区、函館、後志などであった。(全道)
- ・コンクリート舗装の普及拡大(全道)
- 10月は官庁物件のガラス工事業、リフォーム業者のサッシ取替等で前年の売上を上回った。  
・ガラス自体の値上げは少しずつ浸透できつつあるし、その他の項目である工賃、運搬費、出張費、諸経費雑費や廃棄処分費等、細かく分けて請求し全体的な売価の底上げに取り組んでいる。(全道)

#### 鉄鋼・金属

- 材料用スクラップは落ち着いている。  
・特に基盤不足により設備が納入されない事態は変化ない。
- ・11月での資材値上げ予告が多数あり、資材価格上昇は続く。(全道)
- 国内造船所は、鋼材価格が2020年度下期から連続値上げ(トン当たり3万円)によって円安の恩恵も、儲かる絶好のチャンスは失ってしまったと言える。  
・新造船・修繕船・陸上工事の受注が好調で見通しは明るい。が、仕事量の増加で明日以降は人員不足が予想され人員確保が難しい状況。(室蘭)

#### 一般機器

- 電気料金の高騰などでコストが大幅に上昇している影響もあり、事業所の動きは低調である。(札幌)
- 高齢により1社廃業。  
・資材仕入価格の高騰が続いている。  
・9月、10月に3連休が続き、生産効率が悪かった。(全道)
- 製造業において、電力料金の上昇がコストアップの大きな要因となってきている。(直接材料費は数値的に説明できるが、電力料金の数値的な説明は難しい。)(旭川)

#### その他

- 10月に入り観光客も増えた感じはあるが、食品等の値上げの仮需要の影響が大きく受注は減少傾向である。青果物はやはり人参・芋が悪く、玉ねぎだけが豊作である。また、洋紙は3度目の値上げが発表された。段ボール原紙は、いまだ各社の動きがはっきりしない。原燃料や副資材は値上げが進んでいる。製紙一貫メーカーの責任ある行動に期待する。  
・従業員への給与も上げ、休日も増やし、魅力ある業界にしなければならぬが、風

下の我が業界は、いまだ数量確保第一の理論で動いており、業界のトップメーカーに、もっと毅然とした対応での営業活動をするように指導できないものだろうか。

- 原材料の値上げとともに、電気・ガス等の高騰により厳しい経営環境となっている。(札幌)

## 非製造業

### 卸売業

- 円安による仕入れ価格の上昇は価格転嫁が進み売上高、販売価格は上昇している。
  - ・収益も前年比では好転している企業が多いが、仕入値の価格転嫁が100%に至らず、電気・ガソリン価格の高騰によりコストが上昇し利益率は低下している。
  - ・政府の経済優先の施策によりコロナウイルスに対する危機感が薄れ、商業施設の集客が回復し売上数量も回復傾向にあるが、感染者数が急激に増加しており、今後の動向が懸念される。
  - ・展示室、会議室等の施設利用状況も第7波が落ち着いたから一気に上昇し、過去最高に近づきつつある。(札幌)
- 令和4年度も後半となり、組合としては前半期の総括(事業や中間決算、他)を行い、まだまだコロナ禍の中ではあるが、全国的に行動制限が緩和され、多くの野外イベントも開催、久しぶりの賑わいを感じている。ただ、毎月のように物価の値上げの話題が上がり、年末に向けて、節約ムードが漂ってきている感じはある。
  - ・そしてここきて、北海道での感染拡大(第8波?)が来ており、今後の組合事業にも多少の影響が出てきそうである。(帯広)
- 令和4年10月期の当組合買付高は仰卸、荷受1,454,592千円で、先月の9月期実績額1,439,699千円より14,893千円ほど増加した。増加分は全国的な旅行支援が奏功し、飲食需要が伸びたためと思われるが、増加額が少ないことに加え第8波の見通しも増えている現状では、11月期以降の増減予想がつかず、年末に向けての見通しは不透明である。また、全国的に景気の先行きが不透明であり、全産業の見通しも立たない現状である。
  - ・全国旅行支援の効果に関してはもくづく判断できる状況ではないといえる。(札幌)
- 価格値上げが本格化した事で、納入価格自体は上向きだが、値上げした商品の回転率が落ちると、今後の状況が懸念される。
  - ・観光ルートの回復が顕著となってきているが、人流はあるものの物販ではクーポン利用が多く、本格的な回復はまだこれからである。(全道)

### 小売業

- 前年比較
  - ・物販見込 98.1%
  - ・金融 92.5%
  - ・コロナの感染者数が依然として高く、あらゆる品目で値上がりが始まり、高騰している燃料代と本格的な燃料需要期を控え消費マインドが低迷している。業種別では全国旅行支援が開始され観光客が増加していること、観光に向く顧客が増え、高速道路利用率110%・旅行関連は133%・飲食店110%と好調であった。一方、服飾87%・病院85%・家電77%と減少している。中心市街地の商業施設1店が閉店し、もう1店も閉店に向けた縮小営業となり、更に厳しい状況が予想される。(旭川)
- 10月30日(日)『2022フードパレーとかちマラソン』が、3年ぶりに帯広市で開催された。天気も良く絶好のマラソン日和で、大きなトラブルや混乱もなく3777人が完走した。今大会では新型コロナウイルス感染拡大防止のため、様々な制約があったようだ。沿道での食べ物提供や自作ドリンクの設置、表彰式の取り止め、恒例のゴール付近の飲食ブースも設けられなかったため、残念がっているランナーもいたようだ。道内外よりランナーが集まってくる大会、十勝の観光の魅力を発揮出来る催しなので、来年こそはコロナを吹飛ばし、のびのびと活気あふれる大会を期待したい。(帯広)
- 当初にて、プレミアム付き商品券(プレミアム率50%)の使用が開始となったことより、飲食店や小売店などの各組合員の売上は前年度から比べ好転した。一方で、材料費や燃料の高騰などの背景から、利益率が落ち込んでいる組合員もいることから、価格転嫁の指導や当組合の販促イベント強化を図りながら支援していきたい。(白根)
- 電気代・灯油代及び重油代ともに上がり、収益悪化。(美唄)
- 函館朝市においては、今月からの「全国旅行支援」の影響が非常に大きく、一昨年の「GoToトラベル」同様、当組合会でクーポンの一括換金対応をしていることから、初動の10日間で額面800万円以上の利用があり、経済規模では1.5~1.7倍くらいの経済効果が見られたように感じた。ただ、観光面では期待する反面、一気に経済が動き出すことで第8波が訪れ、これからの書き入れ時の年末商戦に向けて、不安な面もある。
- 今月も観光客の来場が増加し売上は伸びているが、販売にかかる経費の高騰に頭を抱えている。
  - ・この物価高により年末のカatalogに載せる商品を削ったり、郵送する枚数を減らす等の対策が必要である。(小樽)
- 10月の売上高は、前年比108%の状況。売上高の伸びは、燃料や急激な食料価格上昇によるものが大きい。旅行支援事業により観光客が増え、飲食店も顧客が増加している。
  - ・例年だと冬物衣類の購入が活発になる時期だが、今年は景気が良くないのか取扱いは伸びていない。年末に向け経済が活発になることを期待したい。(苫小牧)
- 10月は全体的に前年プラスと若干だが持ち直しの動きが見られ、比較的大きくマイナスとなった組合員店と若干だけといった状況で終えている。10月は積極的に展示会やセールを行った組合員店もあり、そこは大きな成果を上げていた。普段通りの営業を行っている組合員店も前年を維持した格好である。消費も全体的には持ち直しているように見受けられるが、続く物価の高騰や生活燃料の高騰がその勢いをかき消しはしないかと懸念するところである。
  - ・10月の取扱高について
  - 10月も、旅行関連や飲食業が好調に推移、9月の数字とまではいかなかったが前年クリアで終えている。当社会員の他都市でのカード利用や釧路市内への入込による他社カードの利用も好調に推移し、全体では前年比102%の結果となった。(釧路)
- 組合全体の前年比は88.0%(生活応援券分はカウントせず)であったが、各業種とも前年並とのことである。
  - ・各業種とも値上げにより客数が落ちているとも聞いており、前月までの駆け込み需要がなくなり、11月がどのようになるか不安視している。(声別)
- 売上高対前年比106.45%
  - ・大口先の売上好転により増収し、利益率も改善された。(札幌)
- 連休もあり、全国旅行割も開始され個人観光客やツアーの団体客が増加し、14日には大型客船も入港し賑わいを見た。
  - ・10月は商店街のイベントを開催。玉ねぎ10キロの格安販売を実施し、行列と

なり市民のお客様に好評であった。

- ・10月後半から、コロナも増えつつあるのでより一層対策を強化していきたい。

- 秋になり鮭、秋刀魚、鰯等の入荷が多くなっているが、価格はなかなか下がらず、販売価格に上乗せすることも難しいため売上利益が厳しい現状である。
  - ・観光のお客様も国の助成金の対策の割には増えていない。(道央)
- 10月より商品、部品の単価がほとんど値上がりしたが、今すぐの影響は出ていない。今後、買い控えが出て年末商戦が不安である。(全道)
- 仕入価格が少しずつ下降してきている。
  - ・販売価格上昇のためか、1件あたりのガス平均使用量が減少している。(稚内)
- 中東原油価格をみると、OPECプラスが10月の原油生産を8月水準までに戻す(減産する)と決定したこともあり、再び上昇基調となり、月を通じて1バレル当たり90ドルから95ドル前後で推移した。この間、北海道におけるガソリンのSS店頭小売価格については、政府の燃料油価格激変緩和対策事業の効果から、1リットル平均166円程度となった。
  - 一方、10月の全国ベースでのガソリン出荷量は前年を下回り、依然としてコロナ禍前の水準には戻っていない。
  - ・今後の動向については、原油価格の高騰が続けば、SS店頭価格も引き続き高値で推移することになり、ガソリン等の販売への影響が懸念される。(全道)
- 円安で割安感のため、海外からの需要が旺盛である。根強い日本人気には拍車がかかり、国内中小業者から悲鳴が上がっている。国内マーケットは玉の取り合いで争奪戦は今も継続中。「高すぎてオークションで仕入れられない」との悲鳴は全国各地の中古車販売店から聞こえ、業界内ではこういう状態は当面続くという見方が強い。一方、販売店での小売り状況は良い。玉があれば売れる状況である。(札幌)
- 自転車シーズンが終わり、除雪機やストローを扱う店舗は準備を進めているが、除雪機も商品の入荷が少なく、中古の点検整備に追われている。(全道)
- コロナ感染は収束していないが、中小企業組合でも徐々に経済活動を再開して約3年ぶりで展示会の開催を実施したところである。10月分は、当組合企業の売上はコロナ前に戻りつつある。しかし、仕入原価の上昇で利益確保に苦労している。乳製品の値上げで、酪農家の経営継続が懸念されるところである。(全道)

### 商店街

- 地元百貨店の9月売上高は、4億3千6百万円(前年同月比33.6%増)。
  - ・閉店セールが好調。
  - ・10月共通駐車券の利用は、前年同月比102.0%、買物共通バス券は、前年同月比27.4%。
  - ・共通駐車券も百貨店の閉店セールが影響している。(帯広)

### サービス業

- 前年比較での宿泊入込数は、道内、道外ともに増加している。令和元年を通常期と捉えると約8割弱程度の回復である。インバウンドも入ってきているものの、数字的な回復までには時間がかかると思われる。待望の全国旅行支援が始まり業界的には好転しているが、在庫一括システムの不具合や予約の取り直し対応など、各宿泊施設は苦慮していた。併せて慢性的な人手不足が業界的にも大きな課題である。(十勝)
- 前月と変わらず燃料用重油が高止まりのまま、営業用の備品及び光熱費の値上がりも営業に大きな打撃となっている。
  - ・10月1日から入浴料金が値上げになったが、どれほど営業利益に繋がるのかわからない。
  - ・日常の衛生管理は、今まで通り徹底していく。(全道)
- 多くの道内中小IT企業が2022年度の上半期決算(9月末決算)を終了したが、増収減益となったIT企業が多い。増収の背景は大手企業だけでなく中小企業にも広がっているデジタル化への投資が高止まりして、特に、クラウドサービスへの移行によるシステム開発案件の増加が原因。DX、AI、5Gに関わるシステム開発案件も多かった。減益の要因は、人材不足で案件数をギリギリの状態で見送っているが、開発単価が伸びないため期待通りの売上よりも伸びていないこと。さらに、離職者防止のための賃金上昇、即戦力の技術人材採用の競争に関する採用コスト増、原油価格高騰による電気・ガス料金の上昇や物価高がオフィス経費増となって利益圧迫のポディーブローになっている。テレワーク(在宅勤務)の常態化の影響で交通費や出張旅費の節減を利益貢献に入れ込んで、今年度は増収減益が続くと予測されている。(全道)

### 建設業

- 令和4年10月の業況として、公共工事においては年度内完成工事が少なくなっており、来年度の工事に向けての準備を進めていく時期になってきている。民間工事においては、大型の工事物件を計画し、進んで苦勞している様に感じている。価格に厳しい金額となり、施工業者を決定していく上で苦労しているように感じている。
  - ・工事を受注する側として、出来るだけ工事の内容を把握し、不明確な状況を少なくした中で相手先と交渉し、受注金額を決めていく必要がある。工事を受けてしまつてから状況の変化が発生することがありがちなので、様々なリスクを想定して確認し進めていく事が必要である。今後、各メーカーによる値上げも予定されているため、資材価格の上昇が予想されるので、工事を施工する上でかなり先を見えた準備と対応が必要となってくる。北海道は気候の変化も大きく冬期に入ってくるため、ロスを少なくする施工管理や労働管理が求められる。(全道)

- 【組合員の業況】
  - 市の追加発注や除雪業務に関わっている業者は準備に忙しい。
  - また、建築事業に付随した機械設備工事でも関係業者は長期的に忙しくなっている。
- 【問題点】
  - 組合員の会社は若手社員の入社がなく高齢化により、定年以降も雇用する会社が増えている。
  - また組合も同様に60歳代後半の職員がおり若手の採用育成が急務だが、思うように応募がない状況である。
- 【地域の実情】
  - 公共事業の中でも建設関連事業の多くが建物の建替え時期を迎えており、しばらくは事業が多くなる見通しである。(名寄)

### 運輸業

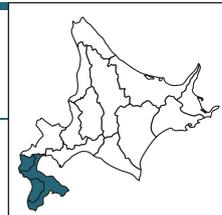
- 売上高は、前年同月比 50.7%増加
  - ・乗務員数は、前年同月比 8.2%減少
  - ・9月分チケット取扱高は、前年同月比 76.5%増加 (旭川)
- 前月同様、燃料油価格の上昇が収益に大きく影響を与えている。(小樽)
- 農産物のについては、夏場の雨の影響からか作柄も思ったより良くない。荷動きは昨年が不作だったため比べると良いが平年を多少下回っている。
  - ・一般貨物については9月下旬に値上げ前の駆け込み需要があり、その反動から荷動きは少し悪かった。(石狩)

# 支部だより



## 道南支部(函館市)

所管／渡島総合振興局・檜山振興局管内  
駐在職員／伊藤事務所長・白吉主事



### (一社)おでかけリハビリ推進協議会が THL と連携

一般社団法人おでかけリハビリ推進協議会(代表理事 松田悌一)は、株式会社タニタヘルスリンク(略称:THL)と連携し、高齢者向け健康づくり活動「おでけリハ健康プログラム」を10月1日より本格展開しました。当協議会では「おでかけリハビリ」という高齢者外出支援運動を、函館朝市協同組合連合会などを含む地域事業者とともに取り組んでいます。函館市の高齢者に商業施設などで買い物や食事、レクリエーションを行ってもらうことで、高齢者のフレイル(虚弱)予防と市街地の活性化を図っているとのことです。



(一社)おでかけリハビリ推進協議会松田代表理事(左)、(株)THL:土志田社長(右)

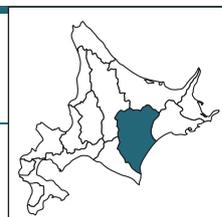
本プログラムは、高齢者

が商業施設で開かれる健康測定会や体操などに参加して外出機会をつくることで、健康維持を支援する取り組みとなっています。参加者は、通信機能を搭載した活動量計やTHLのスマートフォン向けアプリ「HealthPlanet Walk」を持って毎日の歩数を計測し、体組成計や血圧計での計測データとあわせて、からだや運動の状態をパソコンやスマートフォンでいつでも確認できるようになります。同時に、これまで配布していた、健康イベントを開催している商業施設で利用できる商品券と交換可能なイベント通貨「おでかけコイン」をデジタル化し、「おでけリハポイント」として付与します。今後順次、計測回数や歩数などにも付与対象を広げていく予定です。

両社は、これらの取り組みを通じて函館市が目指す地域共生社会の実現に貢献していくとのことです。

## 十勝支部(帯広市)

所管／十勝総合振興局管内  
駐在職員／牧村事務所長・森嶋主事



### 北海道商店街振興組合連合会青年部の全道大会が帯広で開催～碧雲蔵を視察してきました～

北海道商店街振興組合連合会青年部の全道大会が10月5日に帯広で開催されました。帯広での開催は2008年以来の14年ぶり4回目となり、道内各地の14商店街振興組合等から約35名が参加し情報交換や交流の場が設けられました。

全道大会開会后、視察研修で訪れた上川大雪酒造株式会社の「碧雲蔵」についてご紹介します。

帯広畜産大学構内にある碧雲蔵は、2020年に開設された日本初の国立大構内にある酒蔵で、十勝唯一の酒蔵でもあります。蔵内部は見学室から自由に見学できる仕様となっており、蔵の造りが非常にコンパクトなため、



ほぼ全てのお酒造りの工程をこの見学室から見学することが可能です。

蔵のお酒は、北海道産の酒米と日高山脈に源をなし、何度も日本一の清流に輝いた札内川水系の伏流水を使って蔵人たちにより醸されています。今年10月には、道が主催する“北海道米でつくる日本酒アワード2022”の最高賞であるグランプリに碧雲蔵で醸造された「十勝 特別純米」が輝きました。

見学室の隣にあるショップでは、蔵で醸造されたお酒やグラス等のグッズを購入することが可能です。

皆さんも、十勝で醸造された美味しいお酒を是非味わってみてはいかがでしょうか。

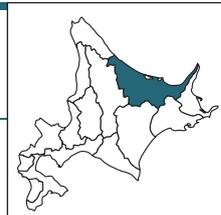


見学室から見る蔵内部の様子



## 網走支部(網走市)

所管/オホーツク総合振興局管内  
駐在職員/平松事務所長・靄田主事



### 網走市のテレワークの新拠点「ナシタ」開業

近年リモートワークなどが注目される中、網走市内初の共有オフィス「網走まちなかコワーキング nascita(ナシタ)」が満を持してオープンしました。

施設名は、北海道弁で「どうしたの?」を意味する「なした?」から取られ、網走の商店街の空き店舗を改修して整備されました。



令和6年度に移転予定の網走市役所新庁舎から約100メートルの距離にあり、旅行者や市民のほか、市役所を訪れたビジネスマンなどが利用するこ

とも想定しています。

施設は200平方メートルの広さがあり、中にはコンセントが使えるカウンター席など24席、オンライン会議もできる個室2部屋、大型モニターがある会議室、間借りできる企業スペース3部屋など充実した仕事環境があります。また、館内はwi-fiやコーヒーマシンが無料で利用できるほか、コイン式コピー機も備えています。

使用料金は、1時間300円、3時間600円など幅広いニーズに対応しています。利用時間は平日の午前9時から午後5時です。

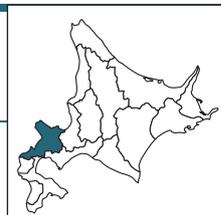
網走を訪れた際にはぜひ活用してみたいはいかがでしょうか?

網走まちなかコワーキングnascita問合せ先  
TEL:090-1522-5546  
Mail:apt4@nascita.jp URL:nascita.jp



## 後志支部(小樽市)

所管/後志総合振興局管内  
担当/連携支援部 若狹主任



### 蘭越町の魅力をご存じですか?

蘭越町は人口約4,000人の町で、雄大なニセコ連峰と日本一の清流になったこともある尻別川に囲まれています。

そんな蘭越町には、医学効果が認められる療養泉、3大美人泉質の硫酸塩泉や硫黄泉など、それぞれ泉質の異なる「7つの温泉郷」があり、温泉郷には歴史



黄金温泉 露天風呂

ある老舗旅館からペンションまで数多くの宿泊施設があります。

また、尻別川流域に広がる肥沃な土壌と、ニセコ連峰から湧き出る天然水が育んだ「らんこし米」は、タンパク質値の含有率が低く、大変おいしいお米です。

この高品質な「らんこし米」を味わうには、国道5

号線沿いにある(一社)蘭越物産協会が運営している「街の茶屋」がおすすめです。

使用するお米は全てらんこし米で、冷めてもうま味が持続するおにぎりは絶品です。



街の茶屋 おにぎり

また、新鮮な地元野菜やお米など、農産品や特産品を館内の直売所で販売しているほか、蘭越町の観光案内も行っており、アンテナショップとして蘭越町を盛り上げています。

皆様も是非お立ち寄りいただき、蘭越町を堪能してみたいはいかがでしょうか。



蘭越観光物産協会(街の茶屋)

## 中小企業大学校旭川校おすすめ研修のご案内

各市町村・金融機関・商工会議所・商工会等で助成制度があります。  
概要は、旭川校のホームページをご覧ください。(右のQRコードからもご覧頂けます)



No. 48 従業員のための健康経営講座(札幌キャンパス開催)

### 企業活力の源泉は 従業員の健康管理から！

NEW

2023年1月11日(水)～12日(木)

受講料：22,000円(税込)

対象レベル：経営者・経営幹部



雇用を取り巻く最新事情と働き方の変化を理解した上で、働きやすい職場環境づくりや健康増進、メンタルヘルスクアの重要性を事例を通して学びます。

No. 37 ビジネスコミュニケーションとリーダーシップ

### 成果を上げ、メンバーから 信頼されるリーダーになるために

2023年1月11日(水)～13日(金)

受講料：32,000円(税込)

対象レベル：経営幹部・管理者・その候補者



メンバーから信頼され将来の環境変化に対応できるリーダーとなるために、成果を上げているリーダーが実践しているビジネスコミュニケーションを学びます。

No. 38 リスク管理の考え方・進め方(札幌キャンパス開催)

### リスクの洗い出しから 対応までのプロセスを学ぶ

2023年1月18日(水)～19日(木)

受講料：22,000円(税込)

対象レベル：経営者・経営幹部



全社的なリスクマネジメントの必要性を理解した上で、自社のリスクを抽出・分析し、リスクマネジメントを実行する体制づくりと実施プロセスを学びます。

No. 39 次世代トップリーダー研修

### 後継者・経営幹部のための 経営力強化研修

2023年1月23日(月)～25日(水)

受講料：32,000円(税込)

対象レベル：経営幹部・管理者・その候補者



後継者や経営幹部が環境変化に適応するための経営のあり方や求められる役割・心構えを学び、今後の組織の成長シナリオや自身の行動目標を検討します。

No. 40 経営トップセミナーⅡ(札幌キャンパス開催) “けいナビ”でおなじみの平本教授に学ぶ！ NEW

### 常識にとらわれない経営で道なき道を切り拓く！

【研修日時】2023年2月2日(木)

【受講料】16,000円(税込)

【対象者】経営者・経営幹部



#### 【研修のねらい】

時代の変化をいち早くキャッチし、柔軟に戦略を見直しながら、環境変化に適応できるのが中小企業の強みと言えます。そうした強みを活かした経営に焦点を当て、様々な事例をもとに自社の今後の方向性を見極めるヒントをつかみます。

- ① 経営環境の変化をつかみ、企業が持続的に成長・発展するための新たな視点や考え方を学びます。
- ② 中小企業ならではの強みの活かし方を様々な事例を通じて理解します。
- ③ 事例企業の経営者から常識にとらわれない新しいビジネスのヒントを学びます。

講座内容詳細は   初めてのの方は

資料請求や講座内容に関してお気軽にお問い合わせください。

電話 0166-65-1200 / FAX 0166-65-2190

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 北海道本部

住所 旭川市緑が丘東3条2丁目2-1

中小企業大学校 旭川校



国が準備したセーフティネット

# 安心の材料をご提供します。

## 小規模企業共済制度

### ●制度の特長

#### 1 経営者のための退職金制度

小規模企業の個人事業主（共同経営者を含む）または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

#### 2 掛金は全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

#### 3 受取時も税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

他にもこんな特徴があります。/

#### 契約者貸付けの利用が可能

契約者（一定の資格者）の方は、緊急時や災害時などに事業資金等の貸付けが受けられます。

#### 共済金の受給権は差押禁止

共済金・解約手当金の受給権は、国税等滞納の差押え以外は差押禁止債権として保護されます。

退職金の準備を  
中小機構が  
お手伝いします



## 経営セーフティ共済

### ●中小企業倒産防止共済制度の特長

#### 1 掛金の10倍の範囲内で最高8,000万円まで貸付け

「回収困難となった売掛金債権等の額」と「掛金総額の10倍に相当する額（最高8,000万円）」のいずれか少ない額となります。償還期間は共済金の貸付金額に応じて5年～7年（据置期間6か月を含む）で毎月均等償還です。

#### 2 貸付条件は無担保・無保証人

共済金の貸付けは、「無担保・無保証人」「無利子」です。ただし、共済金の貸付けを受けますと貸付額の10分の1に相当する額が積み立てた掛金総額から控除されます。

#### 3 掛金は税法上損金（法人）または必要経費（個人事業）に

掛金月額は、5千円～20万円の範囲内（5千円単位）で自由に選べます。

取引先の倒産から  
会社を守る制度です！

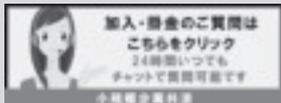


共済相談室 TEL.050-5541-7171 【受付時間】平日 9:00～17:00

### チャットボット

なら  
24時間・365日  
お問い合わせに  
お答えします

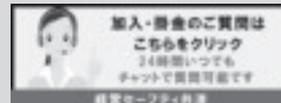
加入資格・手続きについてのご質問をチャットでご回答いたします。  
詳しくは下記のQRコード又はホームページからご確認ください。



小規模共済



検索



経営セーフティ共済



検索



## 商工中金の 中小企業組合支援

個々の企業では解決できないさまざまな課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は、1936年の設立以来、一貫して組合・組合員の価値向上に取り組んでいます。これまでも、これからも、商工中金は、組合運営のフォローや補助金等の情報提供、ご融資を通じて、組合が手がけるさまざまな共同事業の円滑な発展をサポートしていきます。

商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。

札幌支店	〒060-0002 札幌市中央区北二条西 3-1-20	TEL : 011-241-7231
函館支店	〒040-0001 函館市五稜郭町 33-1	TEL : 0138-23-5621
帯広支店	〒080-0013 帯広市西三条南 9-23	TEL : 0155-23-3185
旭川支店	〒070-0035 旭川市五条通 9-1703-81	TEL : 0166-26-2181
釧路営業所	〒085-0847 釧路市大町 1-1-1	TEL : 0154-42-0671

<https://www.shokochukin.co.jp/>

商工中金

検索



## 北海道中小企業団体中央会

〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7 3階

TEL 011-231-1919 FAX 011-271-1109

ホームページアドレス <https://www.h-chuokai.or.jp>

発行日/2022年12月1日(毎月1日発行)

\*この機関誌は、誰もが読みやすいユニバーサルデザインフォントと環境にやさしい植物油インキを使用しています。

